

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情5第45号	受理年月日	令和5年12月20日
件 名	目黒区美術館の建物を民間に売却し、区民センターを残して耐震化リノベーションを求める陳情		
<p><b>【陳情の趣旨】</b></p> <p>1 目黒区美術館の建物を取り壊すのではなく、そのまま建物だけ民間企業等に売却して、美術館の運営も資金を含めてその民間に任せるように考えて下さい。建物の売却金で区は3の項目にある区民センターの建物の耐震化リノベーション工事の費用の一部を賄えます。これは経済的にも環境的にも時間的にも好都合で、また区の財政破綻リスクをも回避できるというメリットの多い手法です。美術館の維持管理費、修繕費、運営にあたっての人件費を含めた費用を区が負担する必要もなくなります。</p> <p>買い手を見つけることは困難ではないでしょう。なぜならこれから邸宅のような規模の美術館を開設したいという人々が世界には数多くいるからです。目黒の一等地にある、今から建設したら100億円相当とも言われる価値の高い目黒区美術館なら欲しがるとは必ずいます。</p> <p>美術館の敷地は例えば70年の定期借地権をその民間に与えて、地代を取って下さい。</p> <p>年2回の子どものためのワークショップや年1回のめぐろの子どもたち展はそのまま区が公費負担で続けて下さい。</p> <p>美術館の美術収蔵品はその民間が展示したり、他の美術館等に貸し出すのを無償で許可して、その代わり作品管理はきちんとやらせるというように工夫して下さい。</p> <p>目黒の宝と言うべき美術館の建物を残すためにそれを売却すると言うのは、もう最後の方策です。</p> <p>2 区が言う建蔽率60%では、区民センター公園は残らず、50メートルの大きく高い建物の周りに植栽が少しだけあると言う程度になってしまいます。木を切って緑を減らすことは時代の流れに逆行することです。地球温暖化にもつながります。区民の憩いの場を奪うことでもあります。今の区の計画を、区は区民全戸にもっと説明するべきです。この区の計画はやめて区民センター公園はそのまま残して下さい。</p> <p>長期間にわたる建設工事は騒音もひどく、周辺住民に大きな影響を及ぼします。</p> <p>3 全面的に現状の区民センターの建物を壊して建て直すのではなく、そのまま残して耐震化リノベーションをして、目黒区の総合庁舎のように利用しましょう。現代の建築技術ではそれが可能です。費用も手持ちの区の資金で賄えるで</p>			

しょう。P F Iでの区の負担金の心配もなくなります。また、このP F Iの手法がうまくいかなかった時の区側の負債の心配もしなくてよくなります。P F Iの手法がうまくいかなかった例が全国に多々あり、これはとても危険な手法だからです。報道等で最近広く知られるようになっていきます。場合によっては自治体の財政破綻につながる恐れがあると有識者に指摘されています。

- 4 以上のような対話を、区長と区民が直接に意見交換出来る絶好の機会であった「区民と区長のまちづくり懇談会」を一方的に区長側の都合でキャンセルをせずに、都市計画についての区民側の意見も取り入れる為に、来年度の再度の懇談会の再開をお願いします。

**【陳情事項】**

- 1 目黒区美術館の建物を民間企業等に売却して、美術館の運営もその民間に任せて下さい。
- 2 区民センター公園は、そのまま残して下さい。
- 3 区民センターの建物を壊して建て直すのではなく、現状の建物をそのまま残しての耐震化やリノベーションをして下さい。
- 4 「区民と区長のまちづくり懇談会」を再開して下さい。